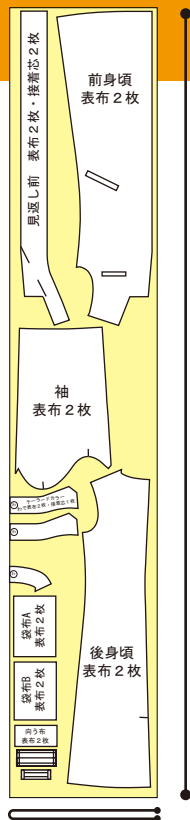


White Coats

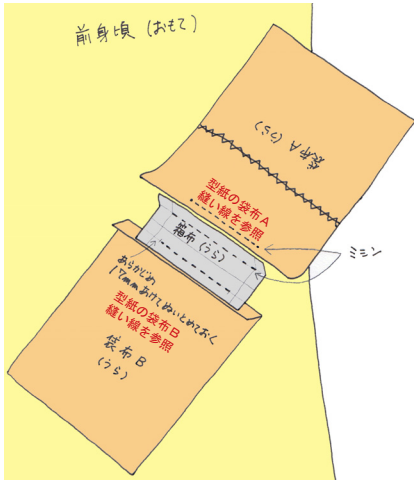
箱ポケットと白衣の縫い方

裁ち合わせ図

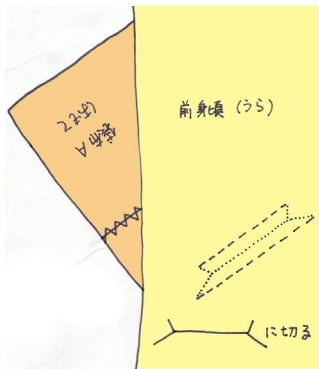


前身頃に箱ポケットを作る。

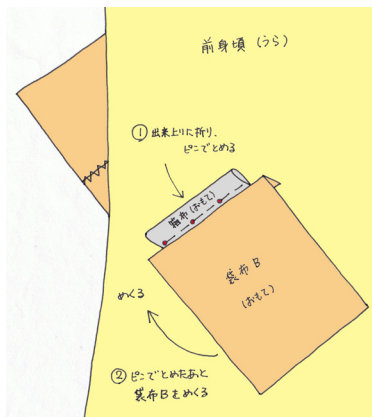
①箱布（うら）に接着芯を張り、先に折り線に合わせてアイロンで形をつけておく。袋布A（おもて）に向う布を乗せてジグザグ縫いで止める。箱布と袋布Bを中表に縫い合わせて、アイロンで袋布側に片倒して、身頃の表側の箱縫い線に縫い付け、袋布Aは袋布A縫い線に縫い付ける。



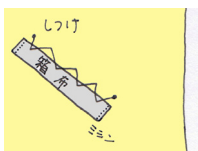
②裏側から箱布と袋布Aの縫い代をよけて、形に切り込みを入れる。



④箱布を出来上がりに折り、縫い代のきわをマチ針で止め、表箱布と裏箱布を止める。

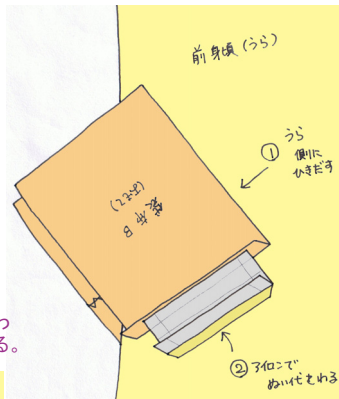


⑥袋布Aを裏側に引き出して縫い代を割る。箱布をアイロンで整えて表面に引き出し、ポケットの口がずれないようにしつけ糸で止め、両端をステッチで止める。

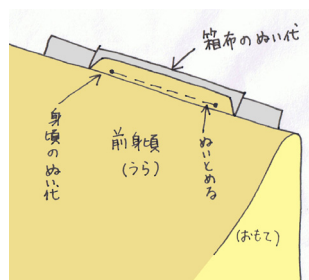


⑧今回胸の箱布はダミーにしてあります。偽箱布位置に偽の箱布をつければポケットは完成です。本物を製作される際は作り方は同じです。

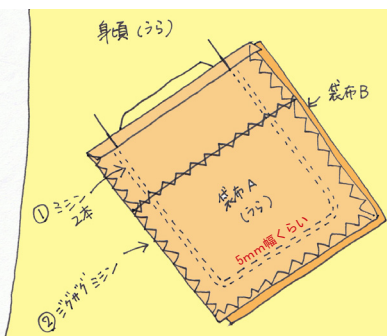
③箱布を裏側に引き出して、つけ位置の縫い代を割る。



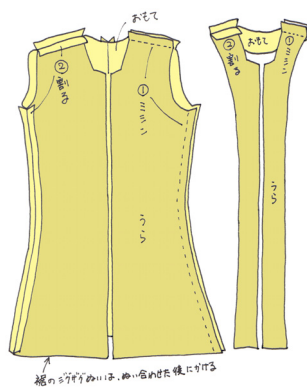
⑤身頃と裏箱布の縫い代を縫いとめておく。



⑦袋布A、Bを合わせて回りに2本ミシンをかけ、端をジグザグミシンで端処理する。



身頃・見返し・袖を縫う。



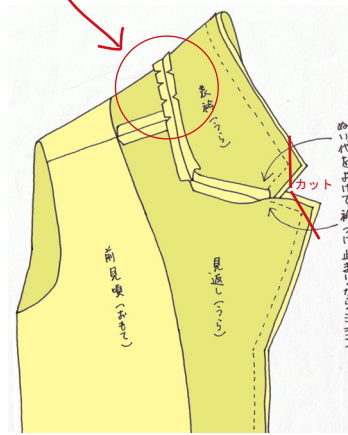
⑨見返し（前）（後）と前身頃の裏側の接着芯位置に接着芯を張る。身頃の肩・脇・後中心と袖の両脇にジグザグミシンをかけておく。身頃の肩と脇を縫い止め、アイロンで割ったら、身頃の裾にジグザグミシンをかける。後中心はスリット位置まで縫い合わせてアイロンで割り、スリット部分は1cmで折り返してミシンでたたいておく。見返しの肩を中表で縫い合わせ、アイロンで割り、ジグザグミシンをかける。袖を中表で合わせて縫い合わせ、アイロンで割り、袖口にジグザグミシンをかけ、1cm織り上げて、ミシンで縫いとめる。

③袖口をジグザグミシン

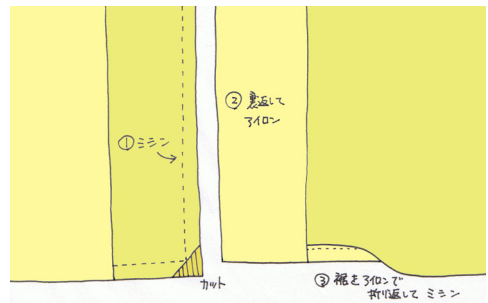
④折り返してミシン

テーラードカラーを作る。

⑩見返しに表衿をつける。衿つけ止まり位置に切り込みを入れ、両方の縫い合わせAを縫いとめ、その後に縫い合わせBを縫い、縫い代をアイロンで割る。身頃には裏衿を同じ手順でつけていく。衿ぐりの縫い代はつれるので、図のように切込みを入れておく。

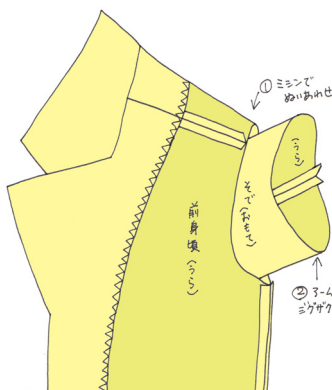


⑪四つどめをします。表衿と裏衿を中表に合わせ、衿つけ止まりが、表裏でずれないように縫いとめます。（解りにくい場合は無くても大丈夫です）衿つけ止まりを起点に縫い代をよけて表衿、見返しと縫いとめます。見返しの裾部分は下図のように縫いとめて、角をカットします。衿の角になる部分も裾同様に切り落とします。見返しを裏返して型紙の衿に記載している、折り返し線に沿って裏側から生地にあたりが出ないように、ハンカチなどを使用してアイロンで形を整えます。裾を1cmで折り、ミシンでとめる。



ボタンホールをつくり。ボタンをつける。

⑫ボタンホールはお手持ちのミシンの説明書をご覧頂き身頃のボタン位置に作ってください。ボタンは身頃と見返しを縫いとめてつけてください。



袖をつける。

⑬袖の縫い合わせが後ろ側になるように注意しながら、袖のアームホール部分を縫いとめる。最後にアームホール部分をジグザグ縫いで端処理しておく。